

付表 1, 付図 1 地下埋設式縦型バルク貯槽の発生能力の表及び図
～充填時の液相プロパン分95mol%

【使用例】 地下埋設式500kg縦型バルク貯槽の連続消費時間：3時間における発生能力を付表1及び付図1から求める。
 但し、残液量30wt%，充填時液相プロパン組成95mol%，地中温度5°C，充填時液温5°Cとする。

(付表の見方) ①500kg型の付表は15頁に記載されている。この中から地中温度5°C，充填時液温5°Cに該当するものは付表1.11であることが分かる。
 ②付表1.11から残液量30wt%，連続消費時間：3時間に該当する発生能力の値を読むと10.7kg/hになる。尚、この時の開始液温は-10°Cである。

付表 1.11 500kg 縦型, 充填時組成 C₃H₈: 95mol%, 地中温度: 5°C, 充填時液温: 5°C

充填時液相 プロパン分 (mol%)	地中 温度 (°C)	充填 液温 (°C)	連続消 費時間 (h)	残液量15wt%		残液量20wt%		残液量30wt%		残液量40wt%		残液量50wt%	
				開始 (°C)	発生能力 (kg/h)	開始 (°C)	発生能力 (kg/h)	開始 (°C)	発生能力 (kg/h)	開始 (°C)	発生能力 (kg/h)	開始 (°C)	発生能力 (kg/h)
95	5	5	1.0	-6	16.6	-5	21.6	-10	29.1	-8	38.8	-6	48.4
			1.5	-6	11.4	-6	14.6	-10	19.9	-8	26.5	-6	33.1
			2.0	-6	8.8	-6	11.2	-10	15.3	-8	20.3	-7	25.2
			3.0	-6	6.2	-6	7.9	-10	10.7	-9	14.1	-7	17.6
			4.0	-7	4.8	-7	6.2	-10	8.4	-9	11.0	-7	13.8
			5.0	-7	4.1	-7	5.2	-10	7.0	-10	9.1	-8	11.4
			6.0	-7	3.6	-7	4.5	-10	6.1	-10	7.9	-8	9.9
			7.0	-7	3.2	-9	3.9	-10	5.5	-11	7.0	-9	8.8
			8.0	-7	3.0	-9	3.6	-10	5.0	-12	6.3	-9	8.0

(付図の見方) ①500kg型の付図は16頁に記載されている。この中から地中温度5°C，充填時液温5°Cに該当するものは付図1.11であることが分かる。
 ②付図1.11から残液量30wt%，連続消費時間：3時間に該当する発生能力の値を読むと10.7kg/hになる。

